

北九州水道組合時代の水道事業

旧五市は、それぞれの地理的条件を活かしながら北九州工業地帯として、わが国4大工業地帯の一つに数えられるまでに発展した。しかし、旧各市が依存しなければならない水源が大部分遠賀川に限られていたため、水利権や財政負担能力から見て、単独で用水問題を解決することは非常に困難であった。このような用水問題を抜本的に解消して水源を確保するとともに、健全財政の確立を図るため、昭和26年国土総合開発の特定地域に指定されたのを契機に、翌27年4月15日、旧門司市を除く四市と福岡県との協議により、北九州水道組合を設立した。

北九州水道組合は、設立後直ちに遠賀川に水源を求め、拡張事業に着手した。既に県営用水事業として、伊佐座取水場と頓田第1貯水池が造られていたが、この事業で頓田第2貯水池と穴生浄水場を完成させた。その結果組合設立当時、1日15万6千 m^3 であった給水能力は、28万8千 m^3 に増大した。

また、昭和35年には、第1次工業用水道が完成し、八幡製鐵所ほか10社に給水を始めた。

北九州市となつてからの水道事業

北九州市が誕生した翌年の昭和39年1月1日に、門司水道部と北九州水道企業庁（北九州水道組合が昭和37年4月にこのように改称された）との合併が成立し、同時に北九州市水道局が発足することとなり、福岡県は脱退した。

合併により、本市は、遠賀川や力丸ダムなどを中心に一日最大39万5千 m^3 の給水能力を有することとなった。

しかし、昭和42年、43年の2年連続の渇水により、延べ約2か月の給水制限を余儀なくされた（昭和53年の渇水では、延べ170日間の給水制限）。

そこで、「渇水」及び「都市の発展に伴う水需要の増加」に対応するため、水資源開発を本市の最重要施策の一つに掲げ、積極的に開発を進め、昭和46年度には油木ダム、昭和48年度にはます淵ダム、昭和58年度には遠賀川河口堰等を開発した。

また、昭和52年には県境を越えた大分県の耶馬溪ダム開発に参画、第5期拡張事業を起業した。

この事業の中心となる耶馬溪導水路は平成10年3月に完成し、浄水施設の完成前の翌4月から小倉南区の井手浦浄水場への通水を開始することで、水源能力の安定化を図った。

平成11年度末には井手浦浄水場の増設工事が完了し、一日最大76万9千 m^3 の給水能力を有するに至り、量的充足期を迎えたことから本格的な維持管理時代へと移行した。

平成18年10月には、北部福岡緊急連絡管の維持用水を活用して宗像市など1市1町1組合に水道水を供給する水道用水供給事業を創設し、平成23年4月より宗像市、新宮町に供給を開始した。さらに、平成27年4月より岡垣町、平成28年4月より福津市、古賀市、平成29年4月より香春町にも給水している。また、平成19年10月には芦屋町、平成24年10月には水巻町の水道事業を統合した。その他、平成28年4月には、宗像地区事務組合水道事業包括業務の受託を開始するなど、水道事業の広域化に取り組んでいる。

平成24年4月には、市民サービスの向上や事業の効率化を進めるため、建設局下水道部門と組織を統合、北九州市上下水道局が発足した。

また、工業用水道においては、平成20年4月に、第1次、第2次、第3次及び産炭地域工業用水道事業を統合した。

北九州市発足以後の事業の沿革

(平成29年9月1日現在)

区分	事業名	起工年月	竣工年月	給水能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)	主な工事
上水道事業	第2期拡張 北九州水道組合、 第4期拡張 門司水道から継続	昭和35.4	昭和42.3	395,000	力丸貯水池建設 穴生浄水場拡張
	第3期拡張	昭和41.4	昭和51.3	609,000	油木貯水池・ます淵貯水池建設 井手浦浄水場築造
	第4期拡張	昭和50.1	昭和59.3	710,000	遠賀川河口堰建設 猪熊取水場、本城浄水場築造
	第5期拡張	昭和52.1	平成20.3	769,000	耶馬溪ダム、平成大堰建設 井手浦浄水場拡張、藍島水道整備、 平尾台水道整備、新北九州空港、高度浄水施設、 葛牧浄水場の廃止及び取水場化
	創設（給水対象：宗像地区事務組合 古賀市、新宮町）	平成18.11	平成23.3 (平成23.4.1 給水開始)	20,000	北部福岡緊急連絡管布設 垂見調整池築造
	市南部拡張	平成26.4	平成29.3	21,000	呼野増圧ポンプ整備
	遠賀川流域拡張	—	—	23,000	
工業用水道事業	第1次工業用水道布設事業	昭和32.4	昭和35.5	70,000	遠賀川取水工事（伊佐座） 畠田浄水場築造
	第2次工業用水道布設事業	昭和35.4	昭和44.3	112,000	引野浄水場築造、力丸貯水池建設、 頓田貯水池かさ上げ
	第1次・第2次工業用水道布設事業	昭和47.4	昭和52.5	—	既設取水場・浄水場の排水処理施設整備
	第3次工業用水道布設事業	昭和46.7	昭和58.8	47,000	遠賀川河口堰建設 本城浄水場・小竹配水池築造 (平成18.10 68,000 $\text{m}^3/\text{日}$ から左記量へ減量)
	産炭地域小水系用水開発事業	昭和44.4	昭和58.8	25,000	同上
	計			254,000	